

平成20年2月25日

左京区 伝統行事 ネットワーク かわらばん

第6号 発行：左京区役所区民部総務課

左京区役所では、平成18年度から区の独自事業として「左京に息づく伝統文化の保存・継承と観光振興～京都創生へ左京から～」に取り組んでいます。今年度は次の2つを柱に取組を進めています。

「左京区内の伝統行事の保存会等によるネットワーク会議」の開催

伝統行事の映像記録DVDを活用した情報発信の充実

第8回 左京区内の伝統行事の 保存会等によるネットワーク会議

- ・日時：平成20年1月24日(木)午後2時～3時30分
- ・場所：左京区役所 第3会議室
- ・内容：講演「伝統行事と地域づくり」、意見交換・情報交換
- ・参加：14団体20名(一乗寺八大神社剣鉾保存会、一乗寺郷土

芸能保存会、市原八モハニ講中、大原伝統文化を守る会、上高野念仏供養踊保存会、久多花笠踊保存会、久多宮の町松上げ保存会、久多山の神・お弓保存会、鞍馬火祭保存会、大文字保存会、松ヶ崎妙法保存会、松ヶ崎題目踊・さし踊保存会、八瀬郷土文化保存会、吉田剣鉾保存会)



講演「伝統行事と地域づくり」

なかし まさつね
京都造形芸術大学教授 中路 正恒さん



右京区の黒田で過疎化する村において芸術大学は何かできるかを研究する中で、黒田の松上げの準備

などのお手伝いさせていただくことになり、一昨年からは学生とともに松明の投げ入れにも参加させていただくなど、貴重な経験をすることができた。黒田の長老の方のお話によると、黒田には昔から外部の人を比較的受け入れてきた風潮があり、松上げは花脊から移り住んできた数軒の家族の発案で始まったそうである。ただ、愛宕山ゆかりの神事である松上げを神事として行うことは、村の伝統にそぐわない部分もあったため、神事ではなく遊びとして行うことを条件として松上げを許可されたということである。

黒田の松上げは神事ではないといっても、燈籠木を立てる技術や松明を投げやすくする工夫などには独自の技術や経験が伝承されている。また、高さ18mの燈籠木に松明を投げ入れるには真剣さが必要であるし、入ったときの喜びや興奮、そして燈籠木が燃え上がるときの感動的な美しさは、黒田の住民でない我々にとってもすばらしい思い出として長く心に残るものであった。

ドイツの大学教授のデトレフ・イプセンさんという方が、宗教的な信条などで地域をまとめることが難しい現代社会においては、地域の人々の心を強く引きつける「詩的な場所」をつくり、さらには外部の人をも受け入れながら地域のつながりを築いていくことが必要であると唱えている。

私自身も黒田の松上げに参加し、この行事が「詩的な場所」として地域の誇りや楽しさを生み出し、さらには外部の人をも柔軟に受け入れながら横のつながりを広げていることを実感することができた。

「詩的な場所」を中心に広がっていく地域の結びつきが、新たな何かを生み出す力となり、過疎化する村における地域づくりの中で有効な指針になっていくものと考えられる。 【裏面へ続く】

昨年、黒田のお年寄りを対象に子どもや孫に伝えていきたい黒田の良さについてのアンケートを行ったが、この取組を通じて、世代間で思いを共有できるのではないかと考えている。このような情報交換のお手伝いなどは、大学が過疎化する地域に対してできる取組のひとつではないかと思う。造形大の通信制には全国の幅広い世代の様々な考えを持つ学生が属しており、こうした広いつながりは大学の強みである。こういったものを過疎の村での地域づくりにもいかしていきたい。

質疑応答 意見交換・情報交換

【吉田剣鉾保存会】吉田では小学校で子どもに鉾差しを教えるなどの取組を通じて後継者の育成に努めている。大学との関わりとしては、京都大学の学生に神輿担ぎや剣鉾差しとして、行事に参加してもらうことを現在計画している。

【一乗寺八大神社剣鉾保存会】一乗寺には基本的に宮座を中心とした組織があり、鉾の差し手も主に地元の人の中から後継者を育成してきた。しかし最近は地元以外で働く人も多く、後継者育成には苦労している。造形大学が近所なので、先生や学生の地域研究などではいろいろと交流している。

【中路先生】全国的にみると、地域の中だけで後継者を育てていくことはもはや限界であり、外部の人を取り込んで後継者として育てている伝統行事もめずらしくはなくなっている。「大学のまち京都」には、全国から多くの学生が集まってくるが、京都の伝統行事、芸能に対して興味がある学生も少なくないので、こうした学生を後継者として育成し、伝統を守っていくことを考えてみてはどうか。

左京に息づく伝統文化・映像ミュージアムの開設

このたび、左京区役所のホームページ上に「左京に息づく伝統文化・映像ミュージアム」を開設しました。ご自宅のパソコンで伝統行事DVD「左京を彩る伝統絵巻」に収録された映像の一部を見たり、伝統行事の開催日時や場所、情報などが一目でわかるようになっています。皆様、ぜひご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/page/0000020267.html>



「市原の盆踊」が 「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」 に選ばれました。

このたび、1月18日に国の文化審議会による答申があり、市原ハモ八踊をはじめとする数珠繰り、鉄扇などを含めた全体が、「市原の盆踊」として「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されることとなりました。

市原ハモ八尼講中の皆様、誠におめでとうございます。



19年度のネットワーク会議は「伝統行事と観光振興」を年間テーマに、3回開催してまいりました。会議での講演や情報交換が伝統行事の保存・継承、そして地域の活性化につながっていくよう来年度も引き続き取り組んでまいりますので、今後もよろしくお願ひします。